JAC創立１００周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	北海道支部	(2)記載者氏名:	鈴木　和夫	会員番号:	13172	事務局整理記入欄			北海道－148
分水嶺区分:	小雪岳～H034黒岩山肩～480m地点(H035方向)			(3)山行日:	2005年	4月	2日	(4)天候	晴れ

(5) 参加者氏名および会員番号

L 鈴木　和夫	13172		
助田　陽一	12995		
		計	2名

サポート要員氏名および会員番号

ｽﾉｰﾓｰﾋﾞﾙ応援			
3名			
		計	3名

(6) 山行記録・位置確認 (出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して) ・所要時間・道の状況

ｺｰｽ概略:													
ｱﾌﾟﾛｰﾁ:													
地点ｺｰﾄﾞ	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	右の沢川造材現場	雄木禽											
分水嶺到達点	小雪岳	函岳	142	28	47.8	44	35	33.4	803	8:50	9:10	B-4	(9), (10)
	P764m	雄木禽	142	29	31.9	44	34	41.0	765	10:10	10:15	B-4	(9), (10)
H034	黒岩山　肩	黒岩山	142	32	14.0	44	36	59.8	745	12:55	13:00	B-4	(9), (10)
	黒岩山	黒岩山	142	32	5.9	44	37	8.0	797	13:10	13:17	B-4	(9), (10)
	C480地点　C1	黒岩山	142	34	17.7	44	36	0.1	480	16:10		B-4	(9), (10)
分水嶺離別点	C480地点　C1	黒岩山	142	34	17.7	44	36	0.1	480				(9)
歩行終了点	C480地点　C1	黒岩山	142	34	17.7	44	36	0.1	480	16:10		B-4	
											総歩行時間 (休憩時間を除く) :		7時間10分

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点ｺｰﾄﾞを記入してください	点名	等級	方位	保存状況	特記事項
H304	黒岩山				積雪のため石標確認できず

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

(9) 水および植生に関連した特記事項

小雪岳山および黒岩山頂部は雪に覆われていた。
国境稜線は針広混交の疎林であった。黒岩山手前は一部白樺の20年生位の密集したところが有った。

(10) その他の特記事項

小雪岳山頂部では雲の中に入り視界２０m程度。C723mまで下るとこの日はこれ以降ほぼ無風快晴。
雪質は小雪山頂部はウインドクラスト、C723mからは圧雪の上に新雪10cm程度
午後2時半頃尾根から標高差100mの40度超えの急斜面から台地に続く箇所では斜面上部に幅1m程度、深さ1.7mのクラックがほぼ
全体に走り、雪庇も残っていた。

(11) 写真の添付: (有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: